

令和 3年4月 1日から  
令和 4年3月31日まで

(単位:千円)

費用の部		収益の部	
項目	金額	項目	金額
営業費用	245,637	営業収益	246,639
供給販売費	245,637	託送供給収益	0
労務費	63,933	自社託送収益	246,639
諸経費	103,564	事業者間精算収益	0
修繕費	48,263	最終保障供給収益	0
消耗品費	7,364	その他託送供給関連収益	0
賃借料	2,974	(補償料等収入)	0
租税課金	49	(償却分区域外工事負担金収入)	0
固定資産除却費	349		
需給調整費	0		
バイオガス調達費	0		
需要調査・開拓費	0		
事業者間精算費	0		
その他経費	44,565		
減価償却費	78,140		
一般管理費	0		
人事関連	0		
土地建物関連	0		
宣伝・広告関連	0		
システム関連	0		
基礎的研究関連	0		
一般管理	0		
事業税	0		
託送供給特定費用	0		
最終保障供給費用	0		
営業利益	1,002		
営業外費用	497	営業外収益	2,626
資金調達	462	資金運用	0
雑支出等	0	雑収入	1,621
その他	35	その他	1,005
特別損失	0	特別利益	0
税引前託送供給関連部門当期純利益(又は税引前託送供給関連部門当期純損失)	3,131		
法人税等	0		
託送供給関連部門当期純利益(又は託送供給関連部門当期純損失)	3,131		

## (託送収益明細表)

(単位:千m3、千円、円/m3)

	託送供給量	託送収益	単価
託送供給収益	0	0	—
自社託送収益	7,353	246,639	33.54
事業者間精算収益	0	0	—
最終保障供給収益	—	0	—
その他託送供給関連収益	—	0	—
託送収益合計	7,353	246,639	33.54

様式第2(第4条関係)

託送資産明細書

事業者名 大網白里市

令和 3年 4月 1日から

令和 4年 3月31日まで

(単位:千円)

項 目	金 額
建設仮勘定	0
設備勘定(有形)	812,499
無形固定資産	50,407
長期前払費用	51
運転資本	20,893
繰延資産	0
託送資産合計	883,850

建設仮勘定、設備勘定(有形)、無形固定資産、長期前払費用及び繰延資産の算定方法については、期首期末平均を採用。

(一般ガス導管事業者:本支管投資額実績表)

(単位:千円)

項目	直近実績					5年平均額
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
主要導管						
本支管(主要導管以外)	75,585	98,727	76,964	68,376	86,245	81,179
計	75,585	98,727	76,964	68,376	86,245	81,179

様式第3（第5条関係）  
第1表

超過利潤計算書

事業者名 大網白里市

令和 3年 4月 1日から

令和 4年 3月31日まで

(単位：千円)

項 目	金 額
税引前託送供給関連部門当期純利益 (又は税引前託送供給関連部門当期純損失) (①)	3,131
託送供給関連部門の営業外費用(その他に限る。) (②)	35
託送供給関連部門の営業外収益(雑収入を除く。) (③)	1,005
託送供給関連部門の特別損益 (④)	0
その他調整額 (⑤=⑥+⑦)	0
補償料等収入 (⑥)	0
最終保障供給取引損益 (⑦)	0
調整後税引前託送供給関連部門当期純利益 (又は調整後税引前託送供給関連部門当期純損失) (⑧=①+②-③-④-⑤)	2,161
調整後税引前託送供給関連部門当期純利益に係る法人税等 (⑨)	0
調整後託送供給関連部門当期純利益 (又は調整後託送供給関連部門当期純損失) (⑩=⑧-⑨)	2,161
託送供給関連部門事業報酬額 (⑪)	18,513
減少事業報酬額 (⑫)	0
託送供給関連部門の営業外費用 (資金調達に限る。) (⑬)	462
当期超過利潤額(又は当期欠損額) (⑭=⑩-⑪+⑫+⑬)	-15,890
うち想定原価と実績費用との乖離額	-17,001

## 第2表

## 超過利潤累積額管理表

事業者名 大網白里市

令和 3年 4月 1日から

令和 4年 3月31日まで

(単位：千円)

項目	金額	備考
前期超過利潤累積額(又は前期欠損累積額) (①) (うち前期乖離額累積額) (⑦)	-21,704 ( -14,917 )	
当期超過利潤額(又は当期欠損額) (②) (うち想定原価と実績費用との乖離額) (⑧)	-15,890 ( -17,001 )	
還元額 (③)	0	
当期超過利潤累積額(又は当期欠損累積額) (④=①+②-③) (うち当期乖離額累積額) (⑨=⑦+⑧)	-37,594 ( -31,918 )	
一定水準額 (⑤)	81,179	
一定水準超過額 (⑥=④-⑤)	0	

一定水準額は、託送供給関連設備投資額のうち、本支管投資額の過去5カ年平均の値を適用

第3表

導管投資額明細表（一般ガス導管事業者）

事業者名 大網白里市

令和 3年 4月 1日から

令和 4年 3月31日まで

（単位：千円）

項目	当期投資額	備考
高圧導管	0	
中圧導管	0	
計	0	

## 第4表

## 内部留保相当額管理表

事業者名 大網白里市

令和 3年 4月 1日から

令和 4年 3月31日まで

(単位：千円)

項目	金額	備考
前期末内部留保相当額 (①)	-48,667	
当期超過利潤額(又は当期欠損額) (②)	-15,890	
還元額 (③)	0	
当期導管投資額(又は当期特定導管投資額) (④)	0	
当期内部留保相当額 (⑤=①+②-③-④)	-64,557	還元義務額残高：0



## 第5表

## 乖離率計算書

事業者名 大網白里市

項目	値	備考
想定原価（千円）（①）	736,584	
想定需要量（千m <sup>3</sup> ）（②）	22,325	
想定単価（円/m <sup>3</sup> ）（③=①/②）	33	
実績費用（千円）（④）	762,671	
実績需要量（千m <sup>3</sup> ）（⑤）	21,852	
実績単価（円/m <sup>3</sup> ）（⑥=④/⑤）	35	
乖離率（%）（⑥/③-1）×100	6	

想定原価及び想定需要量は、平成29年4月から 令和2年3月までの 3年の合計とした。

実績費用及び実績需要量は、平成31年4月から 令和4年3月までの 3年の合計とした。